

今年も余すところわずかな日数となった。よくぞこの一年間を生きて来られたものだと、今しみじみと思う。否、多くのおかげさまをいただきながら、生かされてきたのだと思い返す。いつしか傲慢な思いになっていた自分に気づかせられたことだ。

私の母親は、12月の30日の夜に交通事故で亡くなった。さっきまで元気でいたのに・・・なぜ。その時、現実の厳しさをまざまざと見せつけられた気がした。この事実を受け入れるにはかなり時間がかかったが、こういうご縁として母の命はあったのだ、と諦めをつけた。あれから二十数年、それでもその時の記憶は瞬時に蘇る。兄の四十二歳での突然の死も、やはり同じ思いで受け止めている。

「無常」この悲しくも厳しい**真実**が、私を今も育ててくれているように思えてくる。

## 人生の節目談義

### 湖北十一面観音を訪ねて

ー・T

今から数十年前の三月中旬、私共夫婦と大垣市内の夫婦と四人で、湖北の十一面観音を訪ねるためドライブに出かけた。

途中時間もあったことから、浅井町の近江狐蓬庵に立寄った。訪ねたのが春浅い時期のためか、我々四人のみで、ひんやりとした空気の中、庭を眺めた。本堂南側には簡素な石組みの枯山水、東側は池泉回遊式庭園となっており、自然の地形を生かした趣のある庭園であった。

お昼は木之本町の「想古亭げんない」茅葺屋根の風流な郷土料理の店で、日頃口にできない琵琶湖の恵みであるフナ、コイ等川魚料理をおいしく頂きゆつくりと時を過ごした。本日の目的地渡岸寺へ向かう。渡岸寺十一面観音立像は高月町渡岸寺にある向源寺境内の観音堂に祀られている。息災延命万民豊樂を祈った十一面観音様で一木造り。像高一九五センチ、平安時代初期の国宝である。

訪れたのは我々四人のほか参詣者は五人程で、観音堂はぼいっぱいの状況の中、地元古老のボランティアの方から観音様にまつわる故事来歴の説明を十五分程受けた。その間観音様と向かいあっていますと、左手に軽く水瓶を掲げゆるやかに腰をひねって立っておられるお姿は、大変美しく又、色気さえ感じられました。説明の中で、地元住民達は戦国時代兵火から観音様を守るため土の中に埋藏し、難を免れたと伝えられているとのことでした。

ふだんは宗教にほとんど縁のない私だが、思えば子供のころお寺さんの境内で遊んだり、又お盆にお墓参りをしたりすることはよくあったものだ。地元住人が必死で兵火から観音様を守るための行動を興したことを聞き、心に深く残るものがあった。私も仏教徒であることを感じさせられたひと時でした。その日は一日仏様に見守られていたいい日でありました。

### 何が良くない悪いことか？

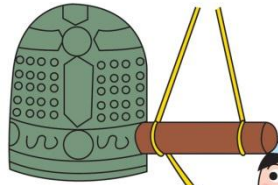
### 迷いの人生からの解放

人生には良いも悪いもないんだよ。人間の煩惱を都合よく満たしてあげるのが、良いことだと思ってしまう。そんなものはすべて色あせ壊れてしまふものなんだよ。つまりそれは本当の幸せとは違ふことなんだよ。悪いと思ってしまうことと同じだよ。煩惱を持った人間の錯覚なんだよ。良い悪いと思ってしまう真実の姿が、煩惱を曇らされて見えなくなってしまうんだよ。そして真実の姿を見せられたのが、唯一仏様のおはたらきなんだよ。そこで仏様が本心に幸せな人生の始まりをももたらしたんだよ。そして心に感謝の人生の始まりが生まれるんだよ。仏様に見守られて、仏様まじりに生きていこう。

一年の終わりと、始まりが「じ」にある。

12月  
31

除夜の鐘



来てくだ  
さいね。  
待ってま  
〜す。  
書道展も  
あります。

1000の煩惱

ゴ〜ン。鐘の音色に心静かに、手を合わせる。  
感謝で終わり、感謝での始まりがここにある。  
心豊かに、生きたいものだ。  
子や孫と願う姿に初日射し。



な〜に？

の、話題を

お知らせします。

一月第二土曜日は、光受寺恒例の**おでんパーティー**です。ご遠慮なくご参加ください。  
1月12日(土)5時半ぐらいの予定です。  
会費 500 円



ここ数年、親睦を兼ねて「おでんパーティー」をやっています。  
一部有志の方のご提案にもとづき、おでんをメインに、もつ鍋、その他もろもろも。少しお酒が入ると和やかな雰囲気となり、会が盛り上がります。  
門徒さん同士のひとつの交流の場として考えています。  
ご遠慮なくご参加いただけることを期待いたしております。

光受寺の十二支の彫刻にない**干支**は、なぜか**巳**なのです。なぜなのでしょう？わかりませんか？

来年は教如上人の四〇〇回忌の年でもあるのです。

十日講や、報徳会で親しみのある教如上人です。実はこの教如上人東本願寺を創立された方でもあるのです。来年四月には御遠忌法要が勤修されます。岐阜教区第十一組でも参詣の計画があるようです。この機会にご参詣いただければ幸いです。

二〇一三年四月一日〜六日…詳細は住職まで

**若院がよむよみ十八世住職としての歩みを始めます。**

来年仕事を辞めて、大学へ入学することとなりました。教師として任職になるための資格取得のためです。

大変な覚悟を以って決断したことだと思いますが、誠にありがとうございました。と思っております。

間信徒の皆様方にお育て頂きながら、次代住職として成長してまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。



### 第2回 本山奉仕団

9月〜11の間で月本山奉仕団として参加したいと思っています。1泊2日の予定です。  
2日目は少し観光も兼ねて行きたいと思っています。お剃刀も受けられます。この機会にどうぞ。